

平成 14 年度

# 事業報告書

平成 14 年 4 月 1 日から  
平成 15 年 3 月 31 日まで

財団法人インターネット協会

## 事業報告目次

### 総務関係事項

1. 理事会
2. 評議員会
3. 副理事長会
4. 企画運営委員会
5. 役員の異動
6. 評議員の異動
7. 会員
8. 職員等

### 事業報告

1. 自主事業
  - ( 1 ) 国際活動
  - ( 2 ) 教育・出版活動
  - ( 3 ) イベント及びセミナー活動
  - ( 4 ) 研究部会活動
2. 受託事業
  - ( 1 ) 国庫受託事業
  - ( 2 ) 他団体受託事業

# 総務関係事項

## 1. 理事会

本年度は次のとおり2回の理事会を開催した。

### (1) 第3回理事会

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 開催日   | 平成14年6月28日   |
| 2. 出席理事  | 35名(委任状提出者含む)  |
| 3. 議案    | 1) 平成13年度事業報告(案)の承認を求める件<br>2) 平成13年度収支決算(案)の承認を求める件<br>3) 評議員選任について<br>4) その他(事務局長の委嘱に関する件) |
| 4. 審議・議決 | 審議の結果、全ての議案について全員一致で可決決定した。  |

### (2) 第4回理事会

- |          |   |
|----------|---|
| 1. 開催日   | 平成15年3月13日  |
| 2. 出席理事  | 35名(委任状提出者含む)   |
| 3. 議案    | 1) 平成15年度事業計画(案)の承認を求める件<br>2) 平成15年度収支予算(案)の承認を求める件<br>3) 借入金について<br>4) 顧問の委嘱について<br>5) 評議員の委嘱について<br>6) 規則・規程の変更について<br>7) その他(IAJapanロゴマークおよび通称変更について)<br>8) 理事長、副理事長の選任の件(追加) |
| 4. 審議・議決 | 審議の結果、全ての議案について全員一致で可決決定した。   |

## 2. 評議員会

本年度は次のとおり2回の評議員会を開催した。

### (1) 第3回評議員会

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 1. 開催日   | 平成14年6月28日         |
| 2. 出席評議員 | 32名(委任状提出者含む)      |
| 3. 議案    | 1) 平成13年度事業報告書について |

- 2) 平成 13 年度収支決算書について
  - 3) 役員選任の件
  - 4) その他(事務局長の委嘱に関する件)
4. 審議・議決 審議の結果、全ての議案について全員一致で可決決定、了承された。

(2) 第 4 回評議員会

- 1. 開催日 平成 15 年 3 月 13 日
  - 2. 出席評議員 3 3 名(委任状提出者含む)
  - 3. 議案
    - 1) 平成 15 年度事業計画(案)について
    - 2) 平成 15 年度収支予算(案)について
    - 3) 役員選任の件
    - 4) その他(IAJapan ロゴマークおよび通称変更について)
4. 審議・議決 審議の結果、全ての議案について全員一致で可決決定、了承された。

### 3. 副理事長会

本年度は次のとおり 3 回の副理事長会を開催した。

(1) 第 7 回副理事長会(拡大)

- 1. 開催日 平成 15 年 2 月 7 日
  - 2. 議題
    - 1) インターネット協会の今後のあり方について
    - 2) 役員改選について
    - 3) その他
3. 審議・議決 協会設立当時の「インターネットの利用普及促進」というテーマは、既に達成されつつあり、今後の協会活動活性化のためには新しい魅力的なビジョンが必要であるとの認識を確認。

(2) 第 8 回副理事長会

- 1. 開催日 平成 15 年 2 月 14 日
  - 2. 議題
    - 1) 第 4 回理事会及び評議員会議案について
    - 2) 任期満了に伴う役員改選について
    - 3) 15 年度活動テーマについて
    - 4) 会員数減少問題について
    - 5) 財政関係について
    - 6) 事務局体制について
    - 7) その他
3. 審議・議決 活動テーマとしては、世の情勢を監視して、タイムリーかつ魅力のあるも

のとする必要があり、ブロードバンドキャリア、ブロードバンドコンテンツ、モバイル、VoIP、地域情報などから、次回に決定する。これが会員数減少の対応にもなるが、財団法人という性格上会員の数に拘るのではなく、内容が重要である。財政的には賛助会費、自主事業、受託請負事業のバランスをとることが重要である。

### (3) 第9回副理事長会

1. 開催日 平成 15 年 3 月 4 日
2. 議題 1) 理事会・評議員会の議案書および進行について  
2) その他
3. 審議・議決 15 年度事業計画における重点活動テーマを、「ユニバーサルアクセス」および「次世代を担う人材の育成」とする。このうち「ユニバーサルアクセス」とは、地域のインターネット利用促進を図り、誰でも、何時でも、何処からでも利用できるインターネット環境について検討するものとする。

## 4. 企画運営会議

本年度は次のとおり 2 回の企画運営会議を開催した。

### (1) 第 2 回企画運営会議

1. 開催日 平成 14 年 6 月 11 日
2. 出席メンバー 16 名
3. 議題 1) 平成 14 年度事業計画および収支予算について  
2) 企画運営会議予算執行規定について  
3) 企画運営会議の運営および体制について  
4) 当協会のサーバー管理について  
5) 地域情報化タスクフォースについて  
6) 14 年度開催予定のイベント、展示会等の報告  
7) その他
4. 審議・議決 企画運営会議の運営体制として、「イベント関連」、「出版/広報」、「検定試験」の 3WG の設置について審議したが継続審議となった。検定試験に関しては、「自主事業 WG」として国分副理事長をリーダーとして活動することが議決された。

### (2) 第 3 回企画運営会議

1. 開催日 平成 15 年 2 月 18 日
2. 出席メンバー 15 人

3. 議題

- 1.平成 14 年度事業計画および実施状況
- 2.日中韓インターネット協会提携関係に関する覚書
- 3.ThinkQuest@JAPAN2002
- 4.BGP オペレータ研修について
- 5.セキュリティサーベイ・パーソナル実施について
- 6.インターネット検定について
- 7.オンラインソフトウェア大賞 2002
- 8.その他

4. 審議・議決

セミナーやイベントなどの活動を見直して数を絞り込む必要があるという意見が出された。部会活動に積極的な参加を働きかける必要があり、また政策講習会など、この協会ならではの情報が得られるようにすべきだという意見があった。

5. 役員の異動

本年度における役員の異動は次のとおりである。

(1)理事

就 任	退 任	選 任 日
伊藤忠テクノサイエンス株式会社 執行役員 営業・技術統括補佐 後藤 健(ごとう けん)	伊藤忠テクノサイエンス株式会社 執行役員 営業推進本部長 榎木 茂(さわらぎ しげる)	平成14年6月28日
株式会社NTTデータ 取締役 ビジネスプラットフォーム事業部長 高草 英博(たかくさ ひでひろ)	株式会社NTTデータ 取締役情報ネットワークビジネス 事業本部長 阿部 賢一(あべ けんいち)	平成14年6月28日
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 常務取締役 MM事業本部長 谷 公夫(たに きみお)	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 常務取締役 MM事業本部長 中村 維夫(なかむら まさお)	平成14年6月28日
東京電力株式会社 常務取締役 築山 宗之(つきやま むねゆき)	東京電力株式会社 顧問 青木 俊(あおき たかし)	平成14年6月28日
株式会社日立製作所 情報・通信グループ業務役員 COO 古川 一夫(ふるかわ かずお)	株式会社日立製作所 上席常務 加藤 孝雄(かとう たかお)	平成14年6月28日
日本アイ・ピー・エム株式会社 取締役・サービス事業担当 下野 雅承(しもの まさつぐ)	日本アイ・ピー・エム株式会社 常務取締役 清水 照雄(しみず てるお)	平成14年6月28日

## (2) 監事

就 任	退 任	選 任 日
株式会社三菱総合研究所 E ガバメント研究センター長 磯部 悦男（いそべ えつお）	株式会社三菱総合研究所 取締役情報環境研究本部長 三輪 行雄（みわ ゆきお）	平成14年6月28日

平成 15 年 3 月 31 日付をもって全役員は任期満了となった。新役員は添付 - 1 の通りである。

## 6. 評議員の異動

本年度における評議員の異動は次のとおりである。

就 任	退 任	選 任 日
財団法人 徳川黎明会 専務理事 徳川 義崇（とくがわ よしたか）		平成14年6月28日

平成 15 年 3 月 31 日付をもって全評議員は任期満了となった。新評議員は添付 - 2 の通りである。

## 7. 会員

法人賛助会員は、新規入会 5 社、退会 50 社で年度末合計 212 社（特別賛助会員 3 社を含む）となった。

また、個人賛助会員は新規入会 19 人で、退会が 63 名、年度末合計 92 人となった。

## 8. 職員等

職員は新規採用者 1 名の異動があった。年度末における職員数は 3 名であった。

# 事業報告

## 1. 自主事業

### (1) 国際活動

#### 1. 国際関連団体との連携活動

##### 1) ICANN (Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターと共催で「ICANN 報告会」を3回開催。

- ・第3回報告会:平成14年4月24日(アクラ会議報告)
- ・第4回報告会:平成14年8月8日(ブカレスト会議報告)
- ・第5回報告会:平成14年12月17日(上海会議報告)

##### 2) IETF (The Internet Engineering Task Force)

・「インターネット技術シンポジウム2002」- IT 最新技術と標準化の動向 - を開催。

第53回 IETF 報告会も同時開催

平成14年4月23日～24日: 笹川記念会館

・第54回 IETF 日本開催支援

平成14年7月14日～19日: パシフィコ横浜

ISOC-JP 会合開催(7月18日 9:00 - 10:30 / パシフィコ横浜 Room 315)

・財団法人情報処理相互運用技術協会(INTAP)と共催で「IETF 報告会」を開催。

第55回 IETF 報告会 <<IETF アトランタ会合報告>>

平成15年2月4日 : 早稲田大学

##### 3) APRICOT (Asia Pacific Regional Internet Conference on Operational Technologies)

- ・平成15年2月19日～28日(於: 台北)
- ・APRICOT2003 に参加

## 2. IPv6

### 1) IPv6 デプロイメント委員会運営委員会(6回開催)

### 2) Global IPv6 Summit in Japan 2002 実行委員会(8回開催)、プログラム委員会(6回開催)、反省会(1回開催)

### 3) IPv6 普及・高度化推進協議会総会(3回参加)

### 4) 「IPv6 オペレーション研究会」報告会

- ・第2回報告会:平成14年6月27日
- ・第3回報告会:平成14年9月27日



5)「Global IPv6 Summit in Japan 2002」開催

・平成 14 年 12 月 18 日～19 日 (Global IPv6Summit in Japan 2002 実行委員会主催)

3. 中国インターネット協会、韓国インターネット協会との提携

1) アジアパシフィック・ブロードバンドサミット (ABS) 開催

・平成 14 年 10 月 17 日 (於:東京ビックサイト)

・アジアパシフィックのブロードバンド市場の健全で安定的な発展を目指し、ブロードバンドを駆使した産業の発達に寄与するべく ABS を企画し、第 1 回を開催した。

2) 日中韓インターネット協会提携に関する覚書

・平成 14 年 11 月 27 日 上海にて署名

・趣旨:2002 年 9 月、マラケシュにおける日中韓の情報通信大臣の情報通信に関する協力関係の覚書を背景とし、3 カ国のインターネット協会が協力してこの地域におけるインターネットおよびそれに関連する諸活動を推進するために提携

(2) 教育・出版活動

1. ThinkQuest@JAPAN 支援

1) ThinkQuest@JAPAN2001 推進委員会および受賞式

・平成 14 年 6 月 1 日 (於:早稲田大学大隈講堂)

2) ThinkQuest インターネット次世代トレンドセミナー

・ThinkQuest@JAPAN の活動の一環として実施された「インターネット次世代トレンドセミナー」に協力。

3) ThinkQuest コンソーシアム

・ThinkQuest 教育プログラムを通じて、社会と教育を結びつけることを目的とするコンソーシアムの設立に協力。

2. IAJapan Review 発行

財団法人インターネット協会の機関誌である「IAJapan Review」を 4 冊 (Vol.2 No.1～4) 発行した。

3. インターネット白書監修

「インターネット白書 2003」発行にあたり、調査協力をを行い、併せて監修した。

(3) イベント及びセミナー活動

以下のイベントおよびセミナーに、主催または共催等、運営、運営協力および参加した。

1. NetWorld+Interop 2002 TOKYO

1) 平成 14 年 7 月 1 日～5 日 (於:幕張メッセ)

2) 展示会への出展および共同運営

## 2. WIRELESS JAPAN 2002

- 1)平成 14 年 7 月 17 日～19 日(於:東京ビックサイト)
- 2)展示会への出展および後援

## 3. Internet Conference2002

- 1)平成 14 年 10 月 31 日～11 月 1 日(於:東京大学弥生講堂)
- 2)5 団体共催、実行委員会に参加協力し、併せて事務局業務を受託

## 4. Internet Week 2002

- 1)平成 14 年 12 月 16 日～20 日(於:パシフィコ横浜)
- 2)社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)主催にて開催された InternetWeek 2002 実行委員会へ8回参加。
- 3)「IAJapan エグゼクティブフォーラム」の開催。  
平成 14 年 12 月 19 日～20 日:パシフィコ横浜  
テーマ: どうなる日本の IT! (19 日:今そこにある危機、20 日:検証 e JAPAN)

## 5. Net&Com 2003

- 1)平成 15 年 2 月 5 日～7 日(於:幕張メッセ)
- 2)展示会への出展および後援

## 6. Net.Liferium 2003

- 1)平成 15 年 3 月 14 日～16 日(於:パシフィコ横浜)
- 2)共同運営

## (4)研究部会

### 1.セキュリティ研究部会(部会長:人見 庸)

#### 1)セキュリティ・フォーラム

<第 11 回 セキュリティフォーラム>

テーマ:「情報セキュリティと法律」/ 「情報セキュリティにおける法的責任  
～個人情報保護、電子署名制度を中心に～」

平成 14 年 11 月 7 日 : 日本教育会館

<第 12 回 セキュリティフォーラム>

テーマ:「電子文書の存在証明に必要な時刻認証技術」/ 「指紋による認証システムの  
歴史と現状」

平成 15 年 3 月 6 日 : 日本教育会館

- 2) 運営委員会(4回開催)
- 3) セキュリティサーベイ・ワーキンググループ(1回開催)
- 4) セキュリティサーベイ(NetWorld+Interop2002 TOKYO 会場で実施)

## 2. ブロードバンド研究部会(部会長:熊谷誠治)

- 1) Asia Pacific Broadband Summit 2002 TOKYO (ABS)プログラム委員として参加

## 3. メッセージング研究部会(部会長:日比野洋克)

- 1) 総務省「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律施行規則の策定について」  
パブリックコメント募集に対する意見提出(平成14年6月16日)

## 4. Java 研究部会(部会長:大山弘樹)

- 1) Java 研究部会 沖縄セミナー ~ Java 初級者から経営者へ贈る "Java を取り巻く  
最新技術とビジネス" ~ 開催  
平成15年3月8日:教育福祉会館(沖縄県那覇市古島)
- 2) 運営委員会1回開催 その他、随時オンライン会議にて検討
- 3) Servlet WG Meeting を2回開催
- 4) 読書会 BOF の開催 / 毎月開催(以下、計12回)  
Java 言語で学ぶデザインパターン入門(第6回)  
Effective Java プログラミング言語ガイド(第1回~第6回)  
リファクタリングプログラミングの体質改善テクニック(第1回~第5回)

## 5. 携帯情報研究部会(部会長:水越賢治)

- 1) メールングリストによるオンライン会議および情報交換

## 6. iDC 研究部会(部会長:白石康雄)

- 1) 「第3回 データセンター・セミナー "ブロードバンド時代のコンテンツ動向"  
~ これからの iDC の役割と課題 ~ 開催  
平成14年6月26日:津田ホール
- 2) 運営委員会3回開催

## 2. 受託事業

### (1) 国庫受託事業

#### 1. インターネットにおけるコンテンツレイティング及びフィルタリング調査研究事業

##### 1) 有害情報・違法情報への対策

有害情報・違法情報から学校・家庭等を保護するために、フィルタリングシステムの教育現場、家庭等における普及および活用の促進を図るとともに、セルフレイティングの推進のために普及啓発活動を実施した。

- ・パンフレット「フィルタリングソフトの仕組み」を作成し、家庭・学校等に配布
- ・Web サイト上に同パンフレットの電子版公開

官、民、NGO、ユーザーなどからなる「レイティング・フィルタリング連絡協議会」において、必要性に対する啓発、受け皿のイメージ、費用負担の在り方などを検討した。

- ・研究会座長：清水康敬氏(国立教育政策研究所 教育研究情報センター長)
- ・研究会(3回開催)

ICRA(Internet Content Rating Association) におけるコンテンツのレイティングに係る国際ルール作りや、W3C(World Wide Web Consortium)における技術標準作りに参画した。

##### 2) レイティングデータベースの更新運用

有害情報の収集を行なうと共に、レイティング作業を行い、主として日本語サイトを対象とするレイティングデータベースの更新と運用を行なった。

レイティングデータベースの運用を行い、ユーザーPC におけるフィルタリングソフトやサーバ型フィルタリングソフトに対して、PICS 標準に基づいてレイティング情報をオンラインで提供した。

メーリングリストや FAQ により、ユーザからの問い合わせに対応するとともに、必要に応じて技術問い合わせに対して回答した。

#### 2. アジア太平洋地域におけるインターネット・セキュリティに関する意識調査

国内および近隣諸国であるアジア太平洋地域のインターネットユーザーに対して、インターネット・セキュリティに関する意識調査を行い、結果を報告書にまとめた。

##### 現地調査

- ・ NET&COM2003(幕張メッセ) 平成 15 年 2 月 4 日～6 日
- ・ APRICOT2003 台北(台北) 平成 15 年 2 月 25 日～27 日

##### ウェブによる調査

- ・ 平成 15 年 2 月 17 日～3 月 3 日

### 3. インターネット業界に対する人権啓発支援事業

インターネット上での誹謗・中傷・プライバシー侵害等の人権にかかわる問題について、以下のような実態把握や予防的な対策を行なった。

#### アンケート調査

「インターネット上の人権意識調査」を実施した。

#### パンフレット作成

「インターネットを利用する方のためのルール&マナー集(自己防衛版)」を作成した。

#### セミナー開催

「誹謗・中傷、プライバシー侵害などのインターネットの人権問題とそれらへの対策」を開催した。

開催日:平成 15 年 3 月 28 日

## (2)他団体受託事業

### 1. インターネットの普及・啓発の推進と諸問題解決策の調査研究

#### 1)インターネットの普及・啓発

インターネット利用者人口実態把握およびネットマナー等に関する検定試験

積み上げ方式によるインターネット利用者人口の実態把握を実施すると共に、インターネット利用における基本知識、ルールとマナーに関して問題を作成し、限定ユーザを対象に試験を実施し、課題を把握した。

#### オンラインソフトウェアの表彰

インターネット上のフリーソフトやシェアソフトなどにより、ユーザーのネット利用環境を改善すると共に、インターネットによるソフト流通を促進するため、優秀なオンラインソフトの表彰を行っており、今年度は第 10 回目となった。

・選考委員会(委員長:高橋三雄麗澤大学教授)による優秀ソフトの選定

・表彰式:平成 15 年 1 月 28 日

大賞 1 件「漢字コードの変換も出来る FTP クライアントソフト」

入賞 11 件

#### 2)インターネットにおける諸問題の解決

基本問題研究委員会、ガイドラインの検討

インターネットを取り巻く諸問題を迅速に解決するための窓口整備、ルール&マナー集の作成、個人情報保護法成立後の対応などの検討を行った。

・第 1 回基本問題研究委員会:平成 14 年 8 月 2 日

・第 2 回基本問題研究委員会:平成 15 年 2 月 4 日

・臨時基本問題研究委員会:平成 15 年 3 月 7 日

「出会い系サイト規制の法制化に関する臨時委員会」を開催

#### ネットワーク音楽著作権連絡協議会

ネットワーク音楽著作権連絡協議会(NMRC)は、ネットワーク上での音楽利用のための許諾ルール制定に向けた情報収集、研究および関係諸団体間の合意形成を目的として設立され、関連の9団体が参加、事務局をインターネット協会において以下のような活動を行った。

- ・ 社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)などとの協議会  
許諾ルール制定に向けた団体間協議の申し入れを行い、共通認識の形成を行なうと同時に、関係省庁の参加を求めて協議を行なった。

#### ウェブ技術委員会

W3Cで標準化が進められているウェブ技術のうち、技術と社会の分野を取り上げて検討した。

- ・ 第1回ウェブ技術委員会:平成14年6月20日  
「XHTML family」
- ・ 第2回ウェブ技術委員会:平成14年11月28日  
「情報家電とウェブサービス」  
「ウェブサービスの現状と今後」

### 3)インターネットホットライン連絡協議会の運営とホットライン間の連携の推進

#### 研究会等

- ・インターネットホットライン連絡協議会の運営、研究会の開催(2回)
- ・国際電話請求トラブル意見交換会の開催(2回)
- ・警察庁「出会い系サイト問題に関するシンポジウム」など、他団体主催セミナーに参加、協力
- ・メールマガジンの発行(4回)

#### 「モバイルインターネットと子ども」に関する国際ワークショップ

携帯電話による子どものインターネット利用のあるべき姿をめざして、世界で初めての子どものモバイルインターネット利用に関する国際ワークショップを開催した。

- ・主催:財団法人インターネット協会、チャイルドネット・インターナショナル(英国非営利団体)
- ・開催日:平成15年3月6日~7日(於:三菱総合研究所)
- ・参加者:世界中の政府、非営利団体、学界、産業界、日本の高校生他、約120名

## 2. ネットワーク運用・管理者育成研修

ルーティングプロトコルにBGP(A Border Gateway Protocol)を使う場合の基礎的知識と設定技術を習得し、さらにBGPを使って外部経路制御するネットワークの運用技術を習得することにより、BGPオペレータの育成を目的とした研修を初めて実施した。

- 1)Basic研修:平成15年1月30日~31日
- 2)Advanced研修:平成15年2月20日~21日(合宿研修)